

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	サンケイ クマリン		
会社名	琉球産経株式会社		
住所	〒901-0242 沖縄県豊見城市字高安 586 番地		
担当部署	生産開発部 生産課		
電話番号	098-850-7791	FAX番号	(098) 856-1856
緊急連絡先	同上		
整理番号	R-305		

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	非危険物	分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分2
	急性毒性（経皮）	区分4
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分1
	生殖毒性	区分1A
	特定標的臓器／全身毒性 （単回ばく露）	区分1（血液系）
	特定標的臓器／全身毒性 （反復ばく露）	区分1（血液系、骨、皮膚） 区分2（肝臓、腎臓）

環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

GHSラベル要素  
シンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと生命に危険 皮膚に接触すると有害 吸入すると生命に危険 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 臓器（血液系）の障害 長期又は反復ばく露による臓器（血液系、骨、皮膚）の障害 長期又は反復ばく露による臓器（肝臓、腎臓）の障害のおそれ
注意書き	<b>【安全対策】</b> 使用前に取扱説明書を入手すること。 保護手袋・保護メガネ・保護面を着用すること。 換気装置を使用し、ばく露を避けること。 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い地域でのみ使用すること。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 <b>【応急措置】</b> 吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼でよく洗うこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。 <b>【保管】</b> 容器は密栓して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。 <b>【廃棄】</b> 内容物や容器については、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し、適切に処理すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合製品の区別	混合製品
農薬の種類名	クマリン
有効成分	
化学名（一般名）	3-（アルファーアセトニトリルベンジル）-4-ヒドロキシクマリン（ワルファリン）

---

化学特性	$C_{19}H_{16}O_4$
含有量	0.1%
官報公示整理番号	化審法 (5) - 3652
CAS番号	81-81-2
その他成分	穀粉等
含有量	99.9%

#### 4. 応急措置

吸入した場合	すみやかに新鮮な空気のあるところに行き、深呼吸をする。 身体に異常を感じた場合は医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに石鹸でよく洗い落とすこと。 身体に異常を感じた場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄すること。直ちに医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	ワルファリンの解毒剤としてはビタミンK <sub>1</sub> が有効である。

#### 5. 火災時の措置

消化剤	小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水 大火災：散水、噴霧水、泡消火剤
-----	---------------------------------------

---

特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	消火作業の際は、状況に応じた保護具（安全帽、防災面、呼吸用保護具、保護手袋、保護長靴、保護服、ゴーグル等）を着用して、安全な距離を保ちながら風上から作業する。煙を吸い込まないように注意する。 消火作業により物質が流出し、環境に影響を及ぼさないように注意する。
消火を行う者の保護	消火作業は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	漏出した場所の周辺にロープを張る等して、関係者以外の立入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ミスト、ガスを吸入しないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。
環境に対する注意事項	漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
回収・中和並びに封じ込め 浄化の方法・機材 二次災害防止策	粉じんを防ぐため、水で湿らせてから密閉可能な容器に回収する。危険でなければ漏れを止める。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。容器内に水を入れてはいけない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	換気の良い場所で取扱う。屋外で取扱う場合は、できるだけ風上から作業する。取扱い場所には関係者以外の立入りを禁止する。取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置する。着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用して取り扱う。 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗い、うがいをする。また、休憩場所には汚染された保護具を

持ち込んではならない。

安全取扱い注意事項

本剤を使用する前に使用説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じんの拡散を防ぐ。粉じん、ヒュームを吸入しないこと。接触、吸入又は飲み込まないこと。空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

保管条件

直射日光を避け、食品、飼料等とは厳重に区別し、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

技術的対策

保管場所には危険物貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。

容器包装材料

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

取扱いの際はできるだけ密栓された装置、機器、または局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに、緊急時に洗身シャワー、手洗い、洗眼を行うための設備を設ける。

許容濃度

管理濃度 未設定

日本産業衛生学会（2005年版） 未設定

ACGIH（2005年版） TLV-TWA 0.1mg/m<sup>3</sup>

保護具

呼吸器の保護具

防塵マスク着用

手の保護具

保護用手袋着用

目の保護具

安全メガネ着用

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。

衛生対策 本剤を使用する際は、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観等

物理的状态 桃色粒状 1粒 約0.4g

[以下ワルファリンのデータ]

臭い 無臭  
pH データなし  
引火点 データなし  
比重（相対密度） データなし  
溶解性 水に難溶。メタノール、エタノール、アセトン、ジオキサンに可溶。

## 10. 安定性及び反応性

安定性 通常の温度及び保管条件で安定。  
危険有害反応性 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。  
強酸、強塩基、酸塩化物、酸無水物と反応する。  
避けるべき条件 加熱、混触危険物質との接触、粉じんの発生。  
混触禁止物質 強酸、強塩基、酸塩化物、酸無水物。  
危険有害な分解生成物 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などを発生する。

## 11. 有害性情報

[ワルファリン1%含有製剤のデータ]

急性毒性 経口（ラット）LD<sub>50</sub>：2558kg/kg  
経口（マウス）LD<sub>50</sub>：♂♀> 5000mg/kg  
経皮（ラット）LD<sub>50</sub>：♂♀> 2000mg/kg  
皮膚刺激性 （ウサギ）：軽度の刺激性あり  
眼刺激性 （ウサギ）：軽度の刺激性あり  
皮膚感作性 （モルモット）：感作性なし  
生殖細胞変異原性 情報無し  
発がん性 データ無し  
生殖毒性 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

特定標的臓器・全身暴露 (単回暴露)	臓器(血液系)の障害
特定標的臓器・全身暴露 (反復暴露)	長期または反復暴露による臓器(血液系、骨、皮膚)の障害 長期または反復暴露による臓器(肝臓、腎臓)の障害のおそれ
吸引性呼吸有害性	データなし
その他のデータ	情報無し

## 1.2. 環境影響情報

生態毒性	(コイ)	LC <sub>50</sub> (48hr)	80ppm (ワルファリン)
	(ミジンコ)	LC <sub>50</sub> (3hr)	> 100ppm (ワルファリン)
	(藻類)	EC <sub>50</sub> (0-72hr)	2.1mg/L
水生環境有害性 (急性)	データ不足のため分類できない。		
水生環境有害性 (慢性)	データ不足のため分類できない。		

## 1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

## 1.4. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	6.1
国連番号	UN3027
品名	クマリン系殺鼠剤
海洋汚染物質	非該当
容器等級	III

## 国内規則

国連分類	6.1
国連番号	UN3027
品名	クマリン系殺鼠剤
海洋汚染物質	非該当
容器等級	III

輸送の特定の安全対策 及び条件	輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないよ うに積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。
--------------------	--

## 1 5. 適用法令

農薬取締法	農薬
労働安全衛生法 (安衛法)	第 57 条の 2 第 1 項 施行令第 18 条の 2 別表第 9 名称等通知すべき有害 物
毒物及び劇物取締法	普通物

## 1 6. その他の情報

この製品安全データシートは現時点で入手可能な資料などをもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行う場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。

